

# 子ども議員が市政を問う



## おおの

# 議会だより

第2回大野市子ども議会（8月24日開催）

No.195 平成28年10月25日

▼  
主な  
内容

9月定例会の概要	2ページ
9議員が市政を問う（一般質問）	3～7ページ
議案の各議員表決	8ページ
常任委員会Q & A	9・10ページ
特別委員長報告	11ページ
委員会視察レポート	11ページ
第2回子ども議会の報告	12ページ



発行：大野市議会  
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>  
編集：議会だより編集委員会

# 9月 定例会市議会概要

第400回定例会市議会は、9月5日から9月23日までの19日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、平成28年度の一般会計補正予算案、条例の改正、物品売買契約の締結、人事案件など、全16議案のほか、陳情4件、議員提出の市会案1件について審議しました。審議結果は、8割のとおりです。

なお、平成27年度の一般会計・特別会計と水道事業会計の決算議案については、10・11月に審査することにしました。

## 一般会計補正予算を修正可決

提案のあった補正予算案の一部を減額する修正案を可決しました。

結果、1億1689万円の増額となり、予算の累計額が180億7898万円になりました。主な補正の内容は、下表のとおりです。

## 特別会計補正予算

国民健康保険事業特別会計では、平成30年に予定の制度改正に伴うシステム改修費、下水道事業特別会計では、公共下水道建設事業費が増額されました。その他の特別会計では、平成27年度事業の確定に伴う余剰金の積み立てなどが主な内容です。

## うらら館のリニューアルオープンに向け、備品整備や管理運営経費などを追加

補正のあった主な内容	補正額
★ セキュリティ対策として、庁内の通常業務とインターネット業務、また図書館のシステム業務と市ネットワークを分離するための経費	849万円
★ 中山間地域において施設園芸を導入する担い手に対する補助	584万円
★ うらら館のリニューアルオープンに向けた備品整備費や記念イベントなどの実施経費	1250万円
★ うらら館のリニューアルオープン後の管理運営経費	550万円
★ 県から指定管理を受けるスキー体験施設の管理運営経費	1178万円
★ 重点道の駅の指定管理予定者を選定するための経費	110万円
★ 現役世代交流促進事業の申請件数増加に伴う補助金の増額	200万円
★ 福井しあわせ元気国体のカヌーコースを整備する経費	800万円
★ 林道ミノ又線の地すべり状況調査・測量業務を実施するための経費	1030万円

## 公共下水道条例の改正

月の途中で公共下水道の使用を開始、休止、廃止等したときに、その月の排除汚水量が基本料金に含まれる量(10立方メートル)の2分の1以下の場合、その月の基本料金を2分の1の額とする改正がなされました。

## 除雪車の更新

ロータリ除雪車1台と装備品一式を購入する契約を認めました。契約額は、3185万円です。

## 人事案件

### 副市長の選任

田中雄一郎氏(泉町)を副市長に選任することに同意しました。

### 教育委員会委員の任命

洞口幸夫氏(友江・再任)と關園子氏(御給・新任)を任命することに同意しました。

### ▼人権擁護委員候補者の推薦

井川鋭子氏(小矢戸・

新任)を推薦することに同意しました。

## 意見書

農業用機械やスキー場の圧雪車など、道路を走行しない機械等の燃料となる軽油にかかる軽油引取税の免除制度の適用期限が平成30年3月までとなっており、この制度の廃止は本市の地域経済に影響を及ぼすことから、継続を求める意見書を政府関係機関へ提出しました。

## 市議会を傍聴しましょう

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議事事務局(3階)で受け付けを済ませてから、傍聴席(R階)にお入りください。

なお、9月定例会の傍聴者数は、本会議4日間で58人でした。

次回、12月定例会の予定は次のとおりです。

皆さまのお越しをお待ちしております。

日程(案)	区分	審議等の内容
11月28日	月 本会議	決算特別委員長報告、質疑、討論、採決 議案上程、提案理由説明
12月5日	月 本会議	一般質問
6日	火 本会議	一般質問、請願・陳情上程
7日	水 委員会	10:00 産経建設常任委員会
8日	木 委員会	10:00 民生環境常任委員会
9日	金 委員会	10:00 総務文教常任委員会
12日	月 委員会	10:00 中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進特別委員会 13:00 人口減少・若者定住対策特別委員会
14日	水 本会議	各委員長報告、質疑・討論・採決

※予定のため変更になる場合があります。

※本会議の開会は、いずれも午前10時を予定していますが、遅れる場合もあります。

# ハード事業が目白押しだが、市の財政は大丈夫か



## 財政構造は厳しい状況にある

創生おおの

梅林

厚子 議員

**問** 財政について広報等で公表されているが、市民からは分かりづらいつわられている。工夫していることは。

**答** 「大野市の家計簿は」とか、身近に感じていただけるといい工夫している。

**問** 建設事業費が増える、維持管理費もかさむが、どう考えているのか。

**答** 公共施設再編により、管理経費を削減したり、指定管理による民間手法の活用により経費の削減に努めている。

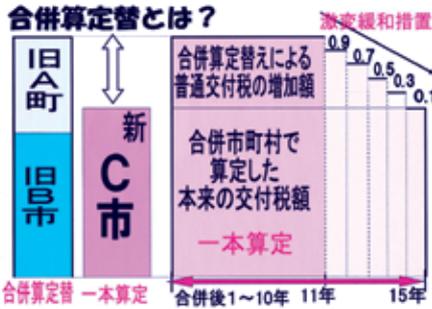
**問** 総務省公表の類似団体カドで本市の維持管理費は類似団体より2倍以上多い。箱物が多いということではないのか。

**答** 大野市のように広い地域を持っていると致し方ないのかと思う。

**問** 合併から10年、起債の繰上償還はしたか。

**答** 一度した。

**問** 今後、合併算定替が



なくなる。また、元利償還金の7割が交付税措置される合併特例債といえども借金は借金、約3分の1は市負担となる。このような状況の中、財政運営をどのように考えているのか。

**答** 道の駅、文化会館の改築など精力的に取り組んでいく必要がある。このような大きな財政需要に関しては、国県などの交付金や補助金、有利な起債などを有効に活用し、また財源を工夫し、健全財政の維持に努めていく。

# 自主防災組織の現状は



## 198行政区で、結成率は93.4%

立志会

堀田

昭一 議員

**問** 自主防災組織の現状と普通救命講習受講率は。

**答** 自主防災組織は本年4月1日現在、全212行政区中、198行政区で169組織が結成され、結成率は93.4%。また、普通救命講習受講率は、平成27年度末で21%、本年度は8月末現在で23%。今後とも未結成地域への結成依頼と育成活動に対する支援や防災リーダーの育成などに努めたい。

**問** 防災士の資格取得の現状は。

**答** 資格取得者数は、平成28年4月1日現在で男性35人、女性4人。これまで、防災士の養成に必要な研修等の費用に対し、約5万円の自己負担が必要であったが、昨年度から県の事業を活用すれば自己負担は8000円となることから、各自主防災組織へ周知するとともに、広報おおの等にも掲載を予定しており、職員に対して

**問** 自主防災組織の現状でも資格取得を促したくない。

**問** ふるさと納税額に対し返礼品にかかる経費は。

**答** 返礼品の経費も含めた支出額の合計は寄付額の約6割で、差し引き約4割が市の収入となる。本年度は返礼品の送付枠を広げ、商品の種類を増やした。リニューアルしたふるさと納税のポータルサイトを9月1日に公開したところ、1週間で60件、210万円の寄付があり、本年度の寄付額は昨年の同時期より、件数で約1.7倍、金額で約2倍である。

**問** 企業版ふるさと納税制度の活用方針と、どのような事業に充てるのか。

**答** 対象事業については、他の補助事業との調整などから現在はまだ定まっていないが、企業が事業の趣旨と内容に賛同でき、また魅力を感じられる事業への活用を検討したい。

一般質問

# 小中学校再編計画(案)を 全世帯に配布する考えは

マスコミに公表し、また広報おおのや  
ホームページに掲載して、周知を図る



日本共産党大野市議員  
野村 勝人 議員

- 問** 説明会が10カ所は少なくないか。もつときめ細かく開催するべきではないか。
- 答** 多くの市民が参加できるような大きな会場を用意し、丁寧に説明したい。都合のつく会場に来ていただくことや、複数回参加してもらうこともできる。
- 問** 学校再編に係る学校教育審議会等の会議録を公表し、市民議論の材料として提供すべきだ。素案・計画案が公表されているので、非公開条項にあたらぬのではないか。情報公開請求者にしか公開していないのは問題であり、市民に公開することに支障はないのでは。
- 答** 学校教育審議会会議録は、情報公開条例に定める非公開条項に該当する。
- 問** 再編計画案の市民への周知方法は、
- 答** マスコミに公表し、市のホームページにも掲載した。また、広報おおの10月号で、計画案の概要、住民説明会の開催及びパブリックコメントの実施について掲載する。さらに、10月には地区説明会を開催する。
- 問** 小中学校がなくなることで衰退していく地域のか。
- 答** 学校行事として、また公民館活動として、地域活動に児童・生徒が進んで参加できる方策を考えたい。
- 問** 小中学校再編計画を平成29年1月を目標に策定したいとしているが、1月にこだわるべきではない。説明会で理解が得られないことも考えられるのではないか。
- 答** 理解いただけるように、丁寧にしっかり説明していく。今後の対応や課題もあり、1月には策定したい。

一般質問

# 若者たちによる本市の課題や政策などを 議論する場を設けては

将来の大野を支えていく若者の声を政策に反映させることは、  
地域の持続可能性の確保からも重要



立志会  
廣田 憲徳 議員

- 問** 人口減少対策として取り組む「大野へかえろう」事業の今後の展開は。
- 答** 高校生などに対して、大野の魅力を訴え掛けるという主目的はもちろんのこと、まち全体として結の故郷越前おおのに対して自信と誇りを、より強く持てるよう一般市民を幅広く巻き込むような企画として、取り組んでいきたい。
- 問** 若者たちの主権者としての自覚、そして政治への関わり方について、どのように考えているのか。
- 答** 将来を担う若者の声が政治に反映されるためにも、若年層世代に政治について少しでも関心を持ってもらうことが重要であると考えている。
- 問** 若者たちの政治に対する関心度は、内閣府の調査によると「ある程度関心がある」という方が
- 答** 50・1割、「若者が対象となる施策、制度について、若者の意見を聞くようにすべき」という方が67・7割であり、本来は政治に対して興味があるという結果である。
- 問** 若者が大野市政に対して今以上に興味を持つための考えはあるか。
- 答** 若年期における投票の有無は、その後の年齢層においての投票に影響を及ぼすものといわれており、今後、ホームページやSNSを利用し、子どもにも市報を見てもらえる仕組みを行うことや、平成30年に開催される国体といった大野を盛り上げる行事に興味をもってもらうなど、細かな情報発信を通じて、少しでも政治、国政、それから大野市政に興味を持つてもらえるように努力していきたい。

# 市長は、どのような教育の長期ビジョンで、この再編計画(案)を進めるのか



## 適正規模化を図るため、本年度中に再編計画の策定に取り組む

**問** 市長は、総合教育会議の座長として、中学校1校、小学校2校、新築とする計画案を出したが、どのような教育の長期ビジョンで、この計画案を出したのか。

**答** 小中学校等の適正規模化を図るため再編を進めることとし、本年度中の再編計画の策定に取り組んでいる。

**問** 学校新築が財政に及ぼす影響について、実質公債費比率や将来負担比率の観点で説明を求める。

**答** 学校新築に係る財源手当ての方策は検討途上であり、具体的な実質公債費比率等の数値は言えないが、各種補助金の確保、積み立てた基金の繰り入れ、有利な地方債の借り入れなど、財政面への負担が極力少なくなるよう検討していきたい。

**問** 学校と地域は別に考えるとするけれども、これは間違いではないか。

**答** 学校と地域づくりは引き離しては考えられないと思うが、時代の変遷という現実がある。

**問** この再編計画案は市長の思いそのものだと理解してよいか。

**答** そう思われるなら、思ってもらってもよいが、教育委員会から協議、調整が入り、この計画で進めたいとのことであったため、理解する旨返事をした。

**問** さまざまな公共施設の財産をどのように活用していくのか考えるべきではないか。既存学校施設を壊すことは決まっているのか。

**答** 今ある学校を活用する考え方はあるかもしれないが、耐用年数の関係で新築が安心・安全である。新築校舎は来年度中に小中学校再編整備基本構想で方向性を決めるが、建設場所については未定。

創生おおの

まつた  
**松田**

もとえ  
**元栄** 議員

# 公共施設再編計画の進捗状況と、これからの方針は



## 必要な見直しを図りながら進めていく

**問** 公共施設再編計画について、現在までの進捗(しんちよく)状況とこれからの市としての方針は。

**答** 公共施設再編計画は、人口減少、少子化・高齢化の進行などによる社会情勢の変化や、施設の老朽化に伴う改修経費の増大などに対応するために、公共施設の適正管理や適正配置に向け、平成25年度から10年間で計画期間として、施設ごとに今後の方向性とその工程を定めたものである。

その後、平成27年に第七次大野市行政改革大綱を策定し、これに基づき、計画の着実な推進に向けて、全庁体制のプロジェクトチームを設置し、積極的な公共施設の再編に努めているところである。

計画全体の取組状況は、本年3月末時点で、方向性を現状維持とした27

5施設を除く59施設のうち、完了した施設が25施設、進行中の施設が33施設となっており、未着手の1施設を除き、計画どおりに進捗しているものと受け止めている。

今後については、インフラ施設を含む市が保有する全ての公共施設を、総合的かつ計画的に管理するため公共施設等総合管理計画を本年度内に策定するとともに、社会情勢の変化や公共施設再編計画策定以降の新たな個別計画との調整や地方創生を加速させるための視点も加え、必要な見直しを図りながら公共施設再編計画を着実に進めていく。

新生おおの

やまざき  
**山崎**

としあき  
**利昭** 議員

# 越前おおのは元気になったか

## 元気な大野の実現に向け、着実に前進



創生おおの

たかだ  
**高田**

やすまさ  
**育昌** 議員

**問** 3期目を折り返した市長の、越前おおの元気プランに基づく施策の成果についての考えは。  
**答** 幹線道路の整備促進、亀山周辺の整備、防災拠点エリアの整備、地下水保全対策や湧水文化の再生、水利権の取得、中心市街地の活性化、越前大野型農業の推進、バイオマス発電所の誘致などに取り組み、さらに教育理念を策定し、大野人の育成を図るとともに結の心を守り、後世に伝える結の故郷づくりの推進や結の故郷教育推進計画の策定、また市民総参加型の市政を推進してきた。

**問** 指定管理者制度の運用理念は。  
**答** 民間の能力を活用することで、住民サービスの向上、管理経費の削減を図ること。  
**問** 指定管理者制度の現状と運営管理状況は。  
**答** 指定管理者が管理を行う施設は、レクリエーション15施設、観光6施設、スポーツ・福祉等6施設、基盤30施設あり、指定管理期間中は、四半期ごとに事業報告書の提出を求め、適正な運営が行われているかを確認するとともに、随時、管理施設に立ち入り、必要に応じて改善を指示している。

**問** 指定管理施設の業績と市としての成果は。  
**答** 直近3年で比較すると、入り込み数は増加し、有効な利用が図られている。また、指定管理料も減少し、管理経費の削減も図られている。

一般質問

# TPPの批准が 地方自治体に与える影響は

## 農林水産分野におけるTPP対策に関する 重点提言を全国市長会で決議



日本共産党大野市議員

さかえ  
**榮**

まさお  
**正夫** 議員

**問** これまでTPP協定が農業分野に及ぼす影響を質問してきたが、農業分野だけでなく、政治、経済、暮らし、文化にまで及び影響すると言われる。  
**答** 例えば、日本の医療保険は、有効性、安全性、普及性の3条件によって、薬剤や治療法を保険に採用して、医療の質を担保してきたとのこと。保険に採用されていない自由診療は、医療費の全額が自己負担となり、保険診療との併用は認められていない。この体制が、TPP協定のISD条項によって崩壊する危険性がある。このときにあたり、地方自治法の第1条にいう地方自治権の機能を発揮することが大切ではないか。

**問** 丁寧な説明を願うとともに、批准にあたっては、各分野において、影響が最小限となるよう万全の措置が講ぜられることを期待する。  
**答** 答弁ではそのような答弁になるだろうと思うが、地方自治権の位置付けが大切ではないか。  
**問** 議員の指摘のとおり、TPPは大部にわたるもので、影響は世の中のあるところ範囲に及ぶことは、そのとおりだと思う。行政としてどうするかというところだが、行政は法律に基づいた業務の執行であり、その法律をどうするかは第一義は国にある。もちろん政府に対し情報の開示を求めることは、その時々新しい情報を把握していくということであり、具体的なアクションも心に留めながら、段階が至れば対応できるような行政を進めることかと思う。

# 一方通行の学校再編計画(案)の説明会になるのか



提案等について、十分検討させていただく

**問** 住民説明会は、ご意見をしっかりと受け止め検討し、参考になるものは参考にし、より良い学校再編計画にするというスタンスでなければ、意見を述べる側の方も述べる気にもならない。そもそもその説明会に行っても意味がないのではということになりかねない。良いものは良いものとして取り入れるというスタンスが全く感じられないが、これから改善していくのか。

**答** 説明会の中で、疑問があった場合には、再度説明会を開催し真摯（しんし）に丁寧に対応させていただく。そして、いろいろな提案等いただいたことについて、十分検討させていただく。

**問** 重点道の駅（仮称）結の故郷一の事業費、維持管理経費、予想来場客数、売上規模、一人当たりの客単価、雇用者数等は、設計、建設などの事



業費と用地費は、約30億円。維持管理経費（人件費や光熱水費など）は、年間約1億9000万円を想定。営業時間内の訪問台数は、1日当たり約750台。年間予想来場者数は約80万人、道の駅での客単価は620円を見込み、本道の駅での売り上げは5億円以上を目標としている。なお道の駅から市内への回遊を加味すれば、その利用者全体での年間の予想売上高は約7億円になると見込んでいる。

また、雇用者数は指定管理予定者の考えにもよるが、市としては約80人の雇用があると考えている。

創生おのおの

かねい  
兼井

まさる  
大議員

## 議会用語の Q&A

議会で使われる言葉は、生活の中では馴染みの薄いものが数多くあります。今回、皆さんに議会でのやりとりをより分かっていただくために、一部の用語解説をいたします。

### Q 議案とは

**A** 議会の議決を要する案件のことです。議案には市長が提出するもの、議員が提出するもの、そして委員会が提出するものがあります。条例を設け又は改正・廃止すること、予算を定めること、決算を認定することのほかに意見書・決議などがあります。

### Q 請願・陳情とは

**A** 市民の皆さんが希望を議会に願い出るので、文書により提出していただくこととなります。請願の場合は議員の紹介（1人以上）が必要です。

### Q 一般質問とは

**A** 市政全般における諸問題について、市長の考えを問う質問をいいます。

### Q 討論とは

**A** 議案などについて、賛成・反対の意見をたたかわすことをいいます。通常は賛成と反対を交互に行いますが、いずれか一方の場合もあります。

### Q 意見書とは

**A** 市民の皆さんの生活に直接関わることで、国や県などの仕事の場合は、市だけでは解決できません。そのようなことに関して、議会の意思を意見としてまとめたものをいいます。意見書は地方自治法に基づき、国や県などに提出します。

### Q 採決とは

**A** 議長が議案に対する賛否を議員に問い、可決や否決など、議会の態度を決定する行為をいいます。

# 平成28年9月第400回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	堀田昭一	野村勝人	廣田憲徳	高田育昌	山崎利昭	松田元栄	永田正幸	梅林厚子	川端義秀	宮澤秀樹	藤堂勝義	松原啓治	高岡和行	島口敏榮	兼井大	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
市長提出議案	(54) 平成28年度大野市一般会計補正予算（第2号）案の修正案	可決	○	退	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	／	○	×	×	○	退	
	54 修正部分を除く平成28年度大野市一般会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	55 平成28年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	退
	56 平成28年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	57 平成28年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	58 平成28年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	59 平成28年度大野市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	60 大野市農林業施設新設、改良及び災害復旧事業分担金徴収条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	61 大野市公共下水道条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	62 市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	63 除雪車更新事業物品売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	64 平成27年度大野市歳入歳出決算認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	65 平成27年度大野市水道事業会計の決算認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	66 副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	×
	67 教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	68 教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	69 人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	市会案	1 免税軽油制度の継続を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	陳情	3 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について 陳情者：自治労福井県本部 執行委員長 橋岡克典	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	／	趣	趣	趣	趣	趣
4 免税軽油制度の継続を求める陳情書 陳情者：森山観光株式会社 代表取締役 三輪欣也ほか1名		採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	／	賛	賛	賛	賛	賛	
5 県民の利便性を最優先に、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための陳情 陳情者：北陸新幹線福井延伸と在来線を考える会 松原信也		継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
6 臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める陳情書 陳情者：福井県農民連 会長 玉村正夫		趣旨採択	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	／	趣	趣	趣	趣	趣

※議案第54号については、修正案が賛成多数で可決され、修正案を除く部分が全会一致で可決されました。結果、修正可決となりました。

（議長（高岡和行氏）は採決に加わらないので「／」、退場は「退」と表示。）  
 議案に賛成○、反対×。継続審査に賛成○、反対×。  
 陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」

# 常任委員会審査



## 産経建設

(松原委員長、川端副委員長  
榮、藤堂、梅林、永田)

### キャリングウオーター プロジェクト(CWP)での 募金活動

**Q** CWPの募金が目標額に達するため、何か工夫している点はあるか。

**A** おおの城まつりなどのイベント会場にブースを設置し、PR活動と募金活動を実施した。また、市職員がそれぞれ担当を決めて、市内の公共施設や事業所などの協力を得て、220カ所に募金箱を設置した。



水の精「みずのめぐみん」のプレートを取り付けた募金箱

**Q** 現役世代交流促進事業を活用して開催される同窓会で募金を実施できないか。

**A** 市民に制度を周知し自主的な募金活動が活発化するよう頑張りたい。また、同窓会での募金の件も検討し、多くの募金が集まるよう努めたい。

### 一般県道大野皿谷線の 進捗

**Q** 国道157号大野バイパスが9月末に全線供用開始することであるが、本バイパスから市街地へのアクセス道路の一つとなる大野皿谷線の進捗状況は。

**A** 県において事業化へ向け、交通量予測を行っているところである。

### 六呂師地区の活性化

**Q** 県が整備する六呂師地区体験施設は、近年、雪が少ない状況の中で収益が見込めるのか。

**A** 本年度は冬の使用だけになるが、来年度、県において夏スキーができるよう整備する方針があり、年間を通じた利用が見込めると考える。

**Q** 施設の管理運営の委託先については、六呂師地区にあるほかの施設での管理運営面での反省点を踏まえて、慎重に選定すべきであるが、考え方は。

**A** 六呂師地区の新たなスタートとなるため、施設管理の委託先については、慎重に検討していきたい。

**Q** うらら館の再開に向け、改修が進められているが、駐車場の舗装の割れ目から雑草が生えており、高原の景観を損ねている。何か対策は考えているか。

**A** リニューアルオープンまでには、ある程度対応していきたい。来年度以降、駐車場の整備についても検討していきたい。

### 重点道の駅 指定管理予定者の選定

**Q** 重点道の駅(仮称)「結の故郷」の指定管理予定者の選定にかかる費用が補正予算で計上されているが、今後、選定までのスケジュールは。

**A** 本年12月から1月にかけて、募集を行い、1月下旬に1次審査を、2月中旬に2次審査を行い、決定したい。

**Q** 供用開始に向けた新商品の開発などの取り組み状況は。

**A** 重点道の駅に限らず、市内への観光入り込み数が増えていることから、新商品を開発し、市内での収益性を向上させることは重要と考え、現在、越前おおの雇用創造推進協議会において検討を進めている。

## 民生環境

(山崎委員長、堀田副委員長  
兼井、宮澤、高田、野村)

### 国民健康保険制度改革

**Q** 国民健康保険制度は、どう変わるのか。

**A** 市町が個別に運営していたものが、平成30年度から県が財政運営の責任主体となる。

**A** 8月末現在の相談件数は140件となっている。相談内容は、保険料や医療費の還付金手続きと称し、現金をだまし取る「還付金詐欺」に対する相談が多かった。

**Q** 市町の役割はどうなるか。

**Q** 被害の未然防止策として、消費者教育の推進や消費生活相談員の資質の向上は不可欠だと思うがどうか。

**A** 財政運営の面では、県は県全体の医療給付費を見込み、市町ごとの国保事業費納付金を決定する。市町は、決定された納付金について保険料を財源に県へ支払う。また、保険料については、県は市町ごとの標準保険料を算定し、市町はそれを参考に保険料を決定し、賦課・徴収を行う。

**A** 高齢者団体等を対象とした消費者教育の実施に加え、市内高校生を対象に消費者教室を開催する。消費生活相談員については、多様化、複雑化する相談に適切に対応できるように、研修経費を補正予算に計上している。

**Q** 県や他市町との協議体制は。

**Q** 今後の事業予定は。

**A** 今年5月に、県と市町とで国保運営方針連絡会議を開催した。現在、納付金や標準保険料の算定ルール等について協議を進めている。来年10月ごろには、県内の統一の方針となる国保運営方針を決定する予定である。

### 消費者相談業務

**Q** これまでの消費者相談件数や相談内容は、

**A** ファッションやヘアメイクアップなど実践型セミナーを実施する。また、10月末には市内の男性と関西在住の女性との交流イベントを開催する。

**Q** 出会いのイベント回数を増やすことやカッブルになった後に、専門的なアドバイザーができるコーディネーターを依頼したらどうか。

**A** 事業全体を検討したい。

が始まる。

**Q** 移行に向けた今後の予定は。

**A** 家事援助員の養成講座の実施、指定事業者説明会、事業者指定を行う。

## 総務文教

(畑中委員長、廣田副委員長  
砂子、島口、高岡、松田)

**介護予防・日常生活支援総合事業**

**Q** 介護保険法の改正でどう変わるのか。

**A** 全国一律の保険給付事業であった要支援1・2の方が利用する訪問介護及び通所介護は、市町

が取り組む地域支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業に移行することになった。

**Q** 移行の時期は。

**A** 来年4月である。

**Q** 移行後のサービスの内容は。

**A** 訪問型サービスでは、

現行の訪問介護相当のサービスに加え、地域の実情に応じたサービスとして、市が実施する養成講座を受講した方が家事援助を行う新たなサービス

小中学校再編計画(案)

**Q** なぜ、急ぐ中学校の再編が7年も先なのか。

**A** 中学校再編時期に、生徒数688人と推計。人口動態から、近いうちに同じ課題に直面し、再々編の可能性がある。素案より時期は遅れるが、一度に1校にする。

**Q** 中学校1校に疑問。小中一貫2校(小2校、中2校)でいいのではないか。

**A** 小中一貫教育の理想は、併設又は隣接が望ましい。小学校600人、中学校300人となると、広大な敷地が必要。現在の敷地では十分機能でき

ないので、現実的には困難と判断した。

**Q** 中学校1校なら、小学校も1校としするのはなぜか。

**A** 1000人を超える小学校は、1学年4〜5クラスとなり、規模が大きすぎる。

**Q** 質問への回答に当たっては、客観的なデータを基に説明しなければ、納得を得ることは難しいのでは。

**A** 必要なことだと思う。

**Q** 現在の生徒のために、現存の校舎を利用して2校に再編するのならば、すぐにでもできるのではないか。計画案は、ベストな方策だとの説明であるが、今あるものを活用したベターな方策もあるのではないか。

**A** 意見の一つとして、お聞きしておく。

**福井しあわせ元気国体のロードレース競技**

**Q** 総合開会式と同日に実施され、多くの通行規制が行われる予定だが、

十分な警察官の確保を行えるのか。

**A** 警察とは人員確保に向けて調整しており、信号機は警察が停止することになる。

## 福井県原子力防災訓練

**Q** 8月28日に、美浜町から77人の方が、本市での避難施設である富田公民館まで避難された。避

難者を、市内11カ所の施設において、万全の態勢で迎えるためには、平時における市民への周知、そして有事の際の協力をお願いすることが大切でないか。

**A** この訓練の教訓を踏まえ、富田地区、上庄地区など、避難施設のある地区への説明の機会を設けたい。

### ●委員会も傍聴できます！

常任及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局までお申し出ください。なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。申し出書は自署された場合、押印は不要です。

### ●インターネット放映

本会議の様様をインターネットで録画配信しています。大野市のホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。ただし、閲覧の前には、免責事項をよくお読みいただきますようお願いいたします。特にスマートフォンによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますのでご注意ください。

## 請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての希望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時まで提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ① 請願・陳情の趣旨(具体的に)
- ② 提出年月日、提出者の住所・氏名(押印必要)
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名(1人でよい)



8月28日の原子力防災訓練の様様

# 特別委員会 報告

## ▼中部縦貫自動車道等

### 幹線道路整備促進

(島口委員長、藤堂副委員長、  
榮、畑中、梅林、松田、山崎、  
廣田)

## 中部縦貫自動車道

大野・大野東間については、道路整備によって多くの場が分断されるため、用排水路や農道等の機能回復工事については、地権者や耕作者等の意見を十分にくみ上げ、整備後、耕作に支障を来さないよう、国に対し働き掛けをされたい。

## 国道158号

境寺・計石バイパスについて、橋梁や道路法面の詳細設計や用地補償に向けた準備が進められているとのこと。一日も早い開通を目指して、引き続き福井市と連携し整備促進に努められたい。

## 国道157号大野バイパス

9月29日中保・吉区間

の供用開始によって、本バイパスが全線開通することとなる。今後、中部縦貫自動車道大野インターからの来訪者を中心市街地へ誘導するアクセス道路として、また市民の緊急医療の重要ルートとして機能を発揮することから、このたびの全線開通には、県をはじめ理事者のご尽力に感謝したい。

一方で、本バイパスは、児童の通学路になっており、適切な歩道除雪など通学の安全確保について、県へ要望いただきたい。

## 大野市重点道の駅

### 〔仮称〕結の故郷

来年2月末までに決定される指定管理予定者については、その経営能力を活用した運営や維持管理コストの削減を施設設計に反映していただくとともに、本「道の駅」は「まるごと道の駅ビジョン」の核となる施設であることから、市内回遊性の向上対策にもご尽力いただく必要がある。よって、その選定については、特に慎重を期されたい。

## ▼人口減少・若者定住対策

(永田委員長、高田副委員長、  
砂子、兼井、松原、宮澤、  
野村、堀田)

大野市総合戦略の四つの柱のうち、3番目の柱である「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に関連する事業について説明を受けた。

(各委員からの主な意見)  
・「婚活力ステップアップ事業」に参加し、実際に結婚に至った方は、事業開始の平成25年度から昨年度末までの3年間で4組とのこと。実績を上げている他自治体の施策も参考にして、今後の事業内容を検討されたい。

・大野市小中学校再編計画(案)に沿って、仮に今後、学校再編が行われた場合、子育て支援に関する各種の施策の見直しが必要になることが予想される。部局を超えた横の連携を密にし、子育て支援施策はどうあるべきかを、学校再編と並行して明らかにし、児童・生徒の安全と、子育て世代の安心を確保していただきたい。

・「子育て支援」に関する相談窓口については、育児相談は地域子育て支援センターと保健センターを、児童虐待に関する相談は、福祉子ども課と児童相談所を、市民に対して紹介しているとのこと。

児童の安全・安心を確保していただきたい。

## 要望活動

中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進特別委員会が、7月28日・29日、市長、議長と共に、国土交通省や県選出国会議員などを訪問し、中部縦貫自動車道の早期開通と予算確保に関する要望及び重点道の駅「(仮称)結の故郷」整備の各種支援への要請を行いました。

## 委員会 視察レポート

### ▼議会だより編集委員会

9月29日・30日に実施。長野県松川町では、紙面レイアウトの工夫などを研修しました。



松川町での研修の様

同町の議会だよりは、平成27年度の町村議会広報コンクールにおいて、企画・構成部門の奨励賞を受賞されています。効果的に見出しと写真が配置されており、読みやすく、インパクトがある紙面となっています。ここに至るまでには、先進地の技術を参考にし、読みやすさや訴求力を高めるため、改善に改善を重ねてきたとのこと。また、議会だよりモニター制度を行っており、町民の意見に沿った改善に努められておられました。

今後、本研修で得た成果を紙面改善に反映させるため、委員会での議論を深めていきます。



国土交通省事務次官室での要望

# 第2回大野市子ども議会を開催!

## 小学生の提案や質問に対し、市長、副市長、教育長が答弁

第2回目となる大野市子ども議会を8月24日に開催しました。市内10小学校から1人ずつの子ども議員が選出され、実施。正副議長、会議録署名議員、市民憲章と教育理念の首唱者を決定し、実際の議会と同じ運営を体験してもらいました。

また、全ての子ども議員が、市の行政に対し、疑問に感じていることや市の将来などについて、大人顔負けの質問や提案を行い、市長、副市長、そして教育長が真剣に答弁を行いました。答弁に対する再質問も出され、答弁者が慌てる場面もありました。



議長 高村あかりさん  
(乾側)



副議長 木間 来実さん  
(上庄)



木下結希乃さん  
(富田)



山崎 正一さん  
(有終南)



福田ちひろさん  
(阪谷)



村松 太郎さん  
(和泉)



村下 佳穂さん  
(有終東)



岡本 敦樹さん  
(下庄)



村田 湧豊さん  
(小山)



田中 千大さん  
(有終西)

子ども議員の質問内容は、学校生活や通学において日頃感じる身近な疑問点のほか、福井しあわせ元気国体・大会での防犯やバリアフリー対策を問うもの、赤ちゃんを産む病院がないことと子どもを産まないことの関係を知るもの、天空の城越前大野城を活用したPRの提案、まちのにぎわいを取り戻すための方策を問うもの、結の故郷のブランドキャッチコピーに感じる疑問点など、幅広いものでした。

最後に高岡議長が「大人以上の質問があり、勉強をされていると感じた」「今日、議場で体験されたことを心にとめておいてほしい」と講評を行いました。

なお、子ども議会の会議録は、大野市のホームページで公開しています。



電子採決システムで会期を決定



### 編集後記

今、地方議会がどうあるべきか問われている。都議会の責任問題、市議会政務活動費の問題。一部の者のことで、誠実に政治活動を行っている者からすれば迷惑なことである。さらにそこに納税者であり、主権者である住民尊重の思考が乏しいことが残念でならない。

慣例や先例にとらわれることなく、社会から市民から求められる政治を目指し、長期間をかけて制定した大野市議会の最高規範である「議会基本条例」に今一度学びたい。

本市では「学校再編計画(案)」の説明会が行われている。政治に正論はないと言われている。だからこそしっかりととした議論を重ね、その上での合意が求められる。

「銀も金も玉も何せむにまされる宝子にしかめやも」  
(座長 梅林厚子)

### 議会だより編集委員会

- 委員 梅林 厚子  
堀田 昭一  
野村 勝人  
川端 義秀  
藤堂 勝義

※次回は、1月下旬の発行を予定しています。